

平成23年度包括外部監査の意見に対する対応結果の公表
(経 済 観 光 局)

- 1 監査意見公表年月日
平成24年2月6日 (広島市監査公表第4号)
- 2 包括外部監査人
世良 敏昭
- 3 監査意見に対する対応結果通知年月日
平成25年6月27日 (広産商第30号)
- 4 監査のテーマ
未収金、貸付金、出資金及び基金に係る財務に関する事務の執行について (債権管理に関する事務を含む。)
- 5 監査の意見及び対応の内容

広島地下街開発株式会社 経営改善スキームの検証について (所管課：経済観光局産業振興部商業振興課)	
監 査 の 意 見 の 要 旨	対 応 の 内 容
<p>経営改善スキームは平成18年3月の策定から既に5年を経過しているが、融資期間は長期間に及ぶため、周辺環境の変化や大規模修繕等の必要性が生じた場合には、現行の長期収支計画を見直した上で、経営改善スキームの見直しの必要性について検証する必要があると考える。</p> <p>広島市の指導調整団体であり、かつ、重要な融資先であることから、広島市が主導して長期収支計画をどうする場合に見直すか (例えば3～5年ごとに定期的に点検を行うことその他、スキームの前提が大きく変動する場合等) を明確にすることが望まれる。</p>	<p>広島地下街開発株式会社では、平成18年3月策定の経営改善スキームに基づいた長期収支計画を策定し、これに沿った経営に取り組んでいる。</p> <p>本市としては、長期収支計画の見直しについては、経営の悪化に伴い、償却前利益 (キャッシュフロー) を確保できない、あるいは借入金残高が計画値を上回るが見込まれる時などに行うこととしている。</p> <p>なお、これまでの実績では、長期収支計画を上回るキャッシュフローを確保しており、借入金等の残高は計画通り減少しているため、現時点で長期収支計画の見直しは行っていない。</p>